

令和7年8月20日 発表

中小企業月次景況調査結果

令和7年7月分

～令和7年7月 データから見た業界の動き～

令和7年8月20日 発表

非製造業ではすべてのD.I値が低下
アメリカ関税引き上げの影響が顕在化



山梨県中小企業団体中央会

〒400-0035 山梨県甲府市飯田2-2-1

TEL 055-237-3215

FAX 055-237-3216

<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/>

令和7年8月20日 発表

非製造業ではすべてのD.I値が低下 アメリカ関税引き上げの影響が顕在化

■ 概 況

7月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で

売上高 + 8ポイント（前年同月比 6ポイント↑）

収益状況 ▲16ポイント（前年同月比 14ポイント↓）

景況感 ▲12ポイント（前年同月比 8ポイント↓）

となり、売上高は前年同月を上回ったものの、収益状況・景況感は下回った。

業種別で、製造業では…

売上高 + 15ポイント（前年同月比 35ポイント↑）

収益状況 ▲25ポイント（前年同月比 15ポイント↓）

景況感 ▲10ポイント（前年同月比 15ポイント↑）となった。

「猛暑による外出控えの影響で店舗への来客数は減少したが、冷菓の売行きが好調で家庭内消費やまとめ買い需要が増加（菓子製造業）」「公共事業等の発注が増加（骨材・石工品等製造業）」「受注単価の上昇や雇用人員の改善が見られ、売上・仕事量が増加（電気機械器具製造業）」など、需要量や受注単価が改善している報告が多く売上高・景況感D.I値が上昇した。

一方で収益状況D.I値は悪化し、「コスト増加分を販売価格に十分に転嫁できず収益状況が悪化（酒類製造業）」「物価高騰による収益圧迫が続いている（骨材・石工品等製造業）」と、止まない物価高に苦慮するコメントが寄せられた。また、「乳製品など原材料価格が高騰しており、一部商品で価格改定を予定（菓子製造業）」「原糸の価格や入荷状況は安定し価格転嫁も進んでいるが、物価高の影響で消費者の購買意欲が低下（織物業）」を例に、一部業種では原材料価格の安定や価格転嫁の進展も見られるが、長引く物価高で需要縮小も起きている。

一方、非製造業では…

売上高 + 3ポイント（前年同月比 14ポイント↓）

収益状況 ▲10ポイント（前年同月比 13ポイント↓）

景況感 ▲13ポイント（前年同月比 23ポイント↓）となった。

「7月の災害予言の影響でインバウンド需要が落ち込んだ（宿泊業）」「インバウンドも含めて稼動が減少（道路旅客運送業）」「今夏は特に酷暑で熱中症の危険性から仕事の進みが遅い（型枠大工工事業）」を例に、今夏は訪日観光客の減少、酷暑による作業効率低下などの外部要因により売上高・景況感D.I値が低下した。

また、消費者の価格重視の購買行動により地場業者の経営環境は厳しく、「3月に南アルプス市に外資系大手流通業のSSが outlets し、近隣のSSでは売上が20%減少。地域の燃料安定供給を担う地場業者の存続のため価格以外で差別化を図る（ガソリンスタンド）」「ネット通販の普及や他業種からの参入により厳しい経営環境が続いているが、地域に根差した専門店として今後もきめ細かなサービス提供に取り組む（電気機械器具小売業）」など、価格以外で差別化を図り需要拡大を目指している。

さらに「新商品や新サービスがなく発展していない状況であるため、商品の販売のみならず役務を受注できるようなスキルやイメージの確立が必要（事務機小売業）」と、新分野での需要拡大の可能性を模索する報告もあった。

アメリカが日本に適用する関税率が15%に決定したことにより、「アメリカの取引先と進めていた新製品案件が量産体制の整備後、関税が15%に引き上げられ、製品コスト増加により日本からの輸入メリットが失われたためキャンセルとなった（ジュエリー製品卸売業）」と、米国関税引き上げによる直接的な影響が出始めている。

中央会では、厳しい経営環境を乗り越えるため、専門家派遣や講習会等を活用した支援を強化していきます。お気軽にご相談ください。

● 製 造 業

食 料 品 (洋菓子製造業)	猛暑による外出控えの影響で店舗への来客数は例年より減少したものの、家庭内消費やまとめ買い需要が増加。特に冷菓（アイスクリームなど）の売行きが堅調で、前年同月と比べ売上は109%となった。乳製品など原材料価格が高騰しているため、秋を目途に一部商品の価格改定を実施予定。
食 料 品 (パン・菓子製造業)	前年同月と比べ売上は120%となった。原材料、包材、光熱費等が高騰しているため、秋に向けて商品単価を改定する必要がある。
食 料 品 (酒類製造業)	前年同月と比べ売上は僅かに増加したが、コスト増加分を販売価格に十分に転嫁しきれず収益状況が悪化した。酒類離れの影響で販売数量が低迷しており、生産量も落ち込んでいる。
繊維・同製品 (織 物)	郡内の各織物産地の機屋では、OEM生産にとどまらず、自社で商品の企画・製造・販売を手がけ、多くのブランドを生み出している。 原糸の価格や入荷状況は徐々に安定し価格転嫁も進んでいるが、物価高の影響で消費者の購買意欲が低下しており、需要の拡大には繋がっていない。
繊維・同製品 (織 物)	年間を通して多くの外国人観光客が訪れているが、当産地の織物に直接触れる機会は限られている。このような来訪者に向けて、高密度・多品種で質の高い当産地の織物製品の認知度をさらに高め、売上増加と産地活性化に繋げるため、各機業との連携強化が求められている。
木材・木製品製造	前年同月と比べ売上は40%増加、景況感は15%好転した。猛暑の影響で工場の稼働を一時的にストップさせているが、仕事量が少ないため生産に支障はない。
窯業・土石 (砂 利)	早川地域では、湖からの採取にかかる原石の購入価格の見直しが行われたため収益が落ち込んだ事業者もあり、全体として前年同月と比べ売上は▲15%、収益状況は▲10%となった。
窯業・土石 (山碎石)	公共事業等の発注増加により、前年同月と比べ売上は13%増加した。一方で物価高騰による収益圧迫が続いている。今後はリニア関連大型事業の早期着手に期待したい。
一 般 機 器 (業務用機械器具製造業)	業界全体で景気の低迷が続き、前年同月と比べ売上は▲30%、収益状況は▲25%となった。8月はお盆休みもあり見通しは良くない。 低迷している半導体関連は来春回復の兆しとの情報もあるが、アメリカ関税が日本経済に与える影響が懸念され、先行きが不透明である。
電 気 機 器 (電気機械部品加工業)	前年同月と比べ売上は20%増加、仕事量も各社で差はあるものの10～30%増加している。受注単価の上昇や雇用人員の改善が見られる一方、一部事業者では仕入材料の値上がり、納期の遅延に苦慮している。
電 気 機 器 (電気機械部品加工業)	前年同月と比べ売上・収益状況ともに▲15%となった。半導体関連は低迷が続き、スポットでリピート品の注文はあるものの数量は少ない。新規見積案件はほとんどなく、新規取引先を探すのに苦慮している。
宝 飾 (研 磨)	研磨新作見本市ジェムストーンフェアin KOFUなどのイベントが開催され、前年度と同規模の集客・売上であった。
宝 飾 (貴金属)	前年同月と比べ売上・収益状況ともに▲50%となった。貴金属・地金の価格が安定せず見通しが立たない。

● 非 製 造 業

卸 売 (ジュエリー)	アメリカの取引先と進めていた新製品案件が、サンプル完成と量産体制の整備後、関税が15%に引き上げられたことに伴い製品コストが増加したことで、日本からの輸入メリットが失われたためキャンセルとなった。今後、世界的な物価高騰による消費低迷が懸念される。
小 売 (青 果)	前年同月と比べ売上は2%増加、収益状況は5%好転した。猛暑による購買意欲低下で野菜類は値下がり傾向にある一方、果物はお中元用需要で桃・ブドウの荷動きが活発である。

小 売 (水産物)	8月の食料品値上げを見込んだ買い込み需要により前年同月と比べ売上は102%となった。水産物は海外からの輸入が多くを占めるため、冷凍水産物を中心に円安による価格高騰を懸念した買い込み需要があった。
小 売 (電気機械器具小売業)	ネット通販の普及や他業種からの参入により県内家電小売業は厳しい経営環境が続いている。消費者の価格重視の購買傾向や地域電機専門店の高齢化も重なり、業界全体の落ち込みが激しい。家電難民を出さないためにも地域に根差した専門店は必要不可欠であるため、今後もきめ細かなサービス提供に取り組んでいく。
小 売 (事務機小売業)	業界として極端な沈みは無く安定しているが、新商品や新サービスがないため発展していない状況。商品の販売のみならず役務を受注していけるようなスキルやイメージの確立が必要だと考える。
小 売 (ガソリン)	今秋の国会でガソリン暫定税率廃止法案が成立する可能性が出てきたため、当業界では課税済み在庫の取り扱いについて情報収集を行っている。 3月に南アルプス市に外資系大手流通業のSSが outlets し、近隣のSSでは売上が20%減少するなど影響が拡大している。地域の燃料安定供給を担ってきた地場業者の存続に向け、価格以外で差別化を図っていく必要がある。
商 店 街	物価高騰に苦慮している。
商 店 街	7月はサマーセールの実施により売上が拡大し、前年同月と比べ117%となった。大月駅周辺に有料駐車場が乱立している影響で組合が運営する駐車場の売上は減少、物価高騰により個店の売上也悪化している。
宿 泊 業	旅行、ビジネス需要の回復により7～8月の予約状況は前年を上回り堅調、特に7月は予約の動きが活発であった。秋にかけても多くの需要が見込まれる一方、繁忙期における人材確保が重要な課題であり、各施設でアルバイトの活用、業務効率化など対応策を模索している。
宿 泊 業	7月の災害予言の影響でインバウンド需要が落ち込み、前年同月と比べ売上は99%となった。また、賃金や物価の上昇分を販売価格に転嫁しきれていない。
一般廃棄物処理	リチウムイオン電池（モバイルバッテリー等に利用されている小型充電式電池）が誤って燃やすごみ等に混せて捨てられ、ごみ収集車やごみ処理施設で発火する事故が多発している。 本件については、排出者や収集・運搬事業者が責任を問われるが、製造・販売事業者にも処理責任を負わせる法整備を行う必要がある。 家電リサイクル制度（テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機等を対象）は回収体制が確立し適正に回収されている一方で、小型家電リサイクル制度は施行状況が十分でないため、自治体は対応に苦慮している。
建 設 業 (総 合)	7月の県内公共工事は、前年同月比で件数は▲21%、請負金額は▲26%となった。7月末累計では件数は▲8%、請負金額は▲4%となった。
建 設 業 (型 枠)	今夏は特に酷暑で熱中症の危険性から仕事の進みが遅く、公共工事でも不調が多いため前年同月と比べ収益状況は▲5%となった。今後、公共工事・民間工事ともに増加が見込まれるが、各社職人不足が課題となっている。
建 設 業 (鉄 構)	全体的に仕事量が少なく、前年同月と比べ売上は▲10%、収益状況は▲5%となった。公共工事の着工が遅れ自社の受注量が減少したケースや、県内の公共物件を県外事業者が低価格で受注するケースも発生している。 技術者の高齢化も課題で、生産力低下が起きている事業者もある。
設 備 工 事 (電気工事)	資材は一部を除き不足等はなく順調に調達できているが、仕入価格は高騰し続けている。また、人材不足が引き続き課題である。

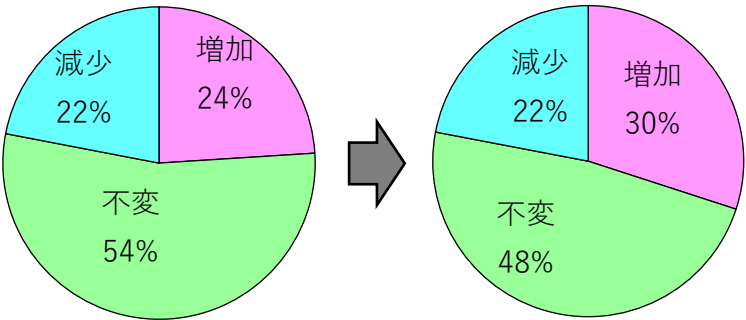
設備工事 (管設備)	上下水道の管路などのライフラインの維持管理問題が注目されている。担い手不足の状況下でこの問題にどのように対応していくかが業界の課題である。
運 輸 (軽貨物)	組合員数が減少傾向で、加入促進を行っているものの脱退者も多い。
運 輸 (バ ス)	インバウンドも含めて稼動が減少し、前年同月と比べ売上・収益状況ともに▲10%となった。
運 輸 (トラック)	夏の繁忙期に入り青果物や水の輸送が好調である一方、燃料高騰や2024年問題の影響で売上は横ばいとなっている。 今後、アメリカ関税が運送業界に与える影響を注視していく。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
対前年・前月・当月	2024年7月	2025年6月	2025年7月	2024年7月	2025年6月	2025年7月	2024年7月	2025年6月	2025年7月
売 上 高	▲ 20	15	15	17	▲ 3	3	2	4	8
収 益 状 況	▲ 10	▲ 20	▲ 25	3	▲ 17	▲ 10	▲ 2	▲ 18	▲ 16
景 況 感	▲ 25	▲ 25	▲ 10	10	▲ 13	▲ 13	▲ 4	▲ 18	▲ 12

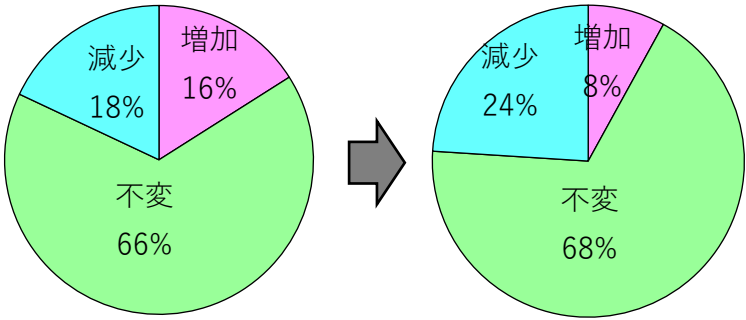
※(（良数値÷対象数）×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I値

売 上 高（前年同月比）



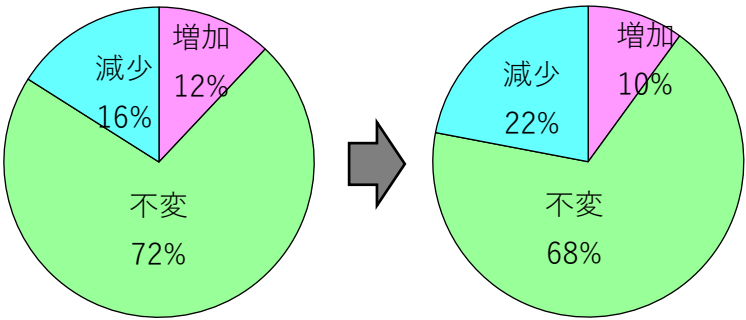
- ・D I 値+ 8（前年同月比+ 6）
- ・業種別D I 値
 - 製 造 業 +15(前年同月比+35)
 - 非製造業 + 3(前年同月比▲14)
- ・前月比D I 値
 - 製 造 業 ± 0
 - 非製造業 + 6

収 益 状 況（前年同月比）



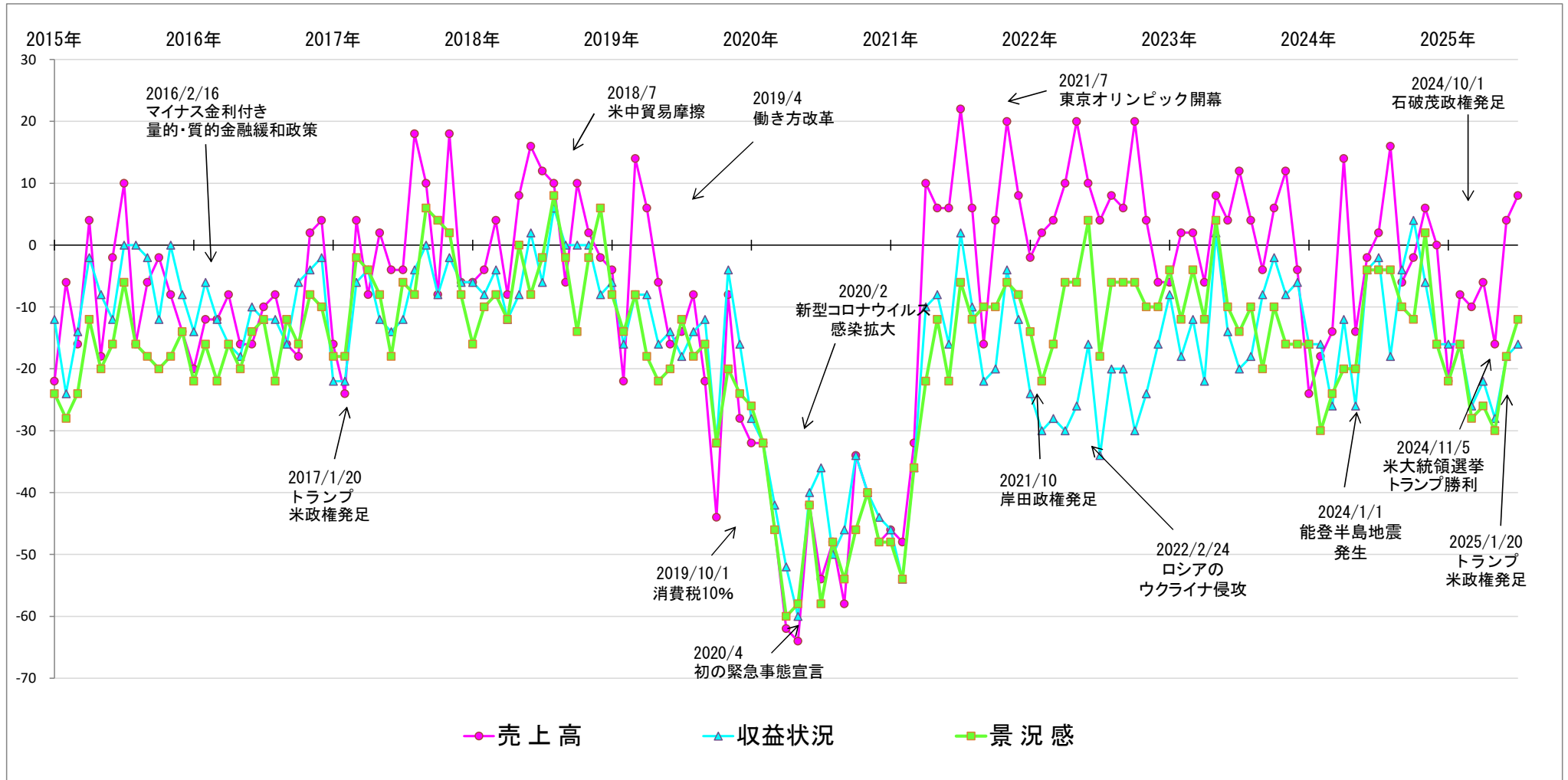
- ・D I 値▲16（前年同月比▲14）
- ・業種別D I 値
 - 製 造 業 ▲25(前年同月比▲15)
 - 非製造業 ▲10(前年同月比▲13)
- ・前月比D I 値
 - 製 造 業 ▲ 5
 - 非製造業 + 7

景 況 感（前年同月比）

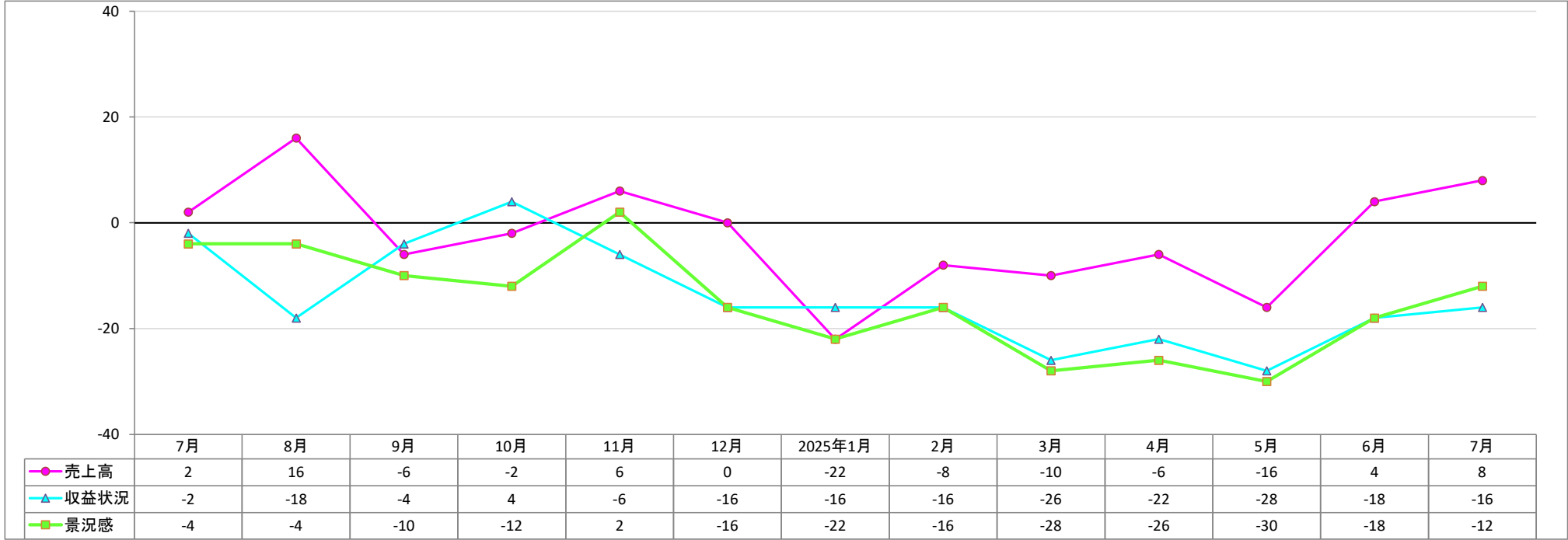


- ・D I 値▲12（前年同月比▲ 8）
- ・業種別D I 値
 - 製 造 業 ▲10(前年同月比+15)
 - 非製造業 ▲13(前年同月比▲23)
- ・前月比D I 値
 - 製 造 業 +15
 - 非製造業 ± 0

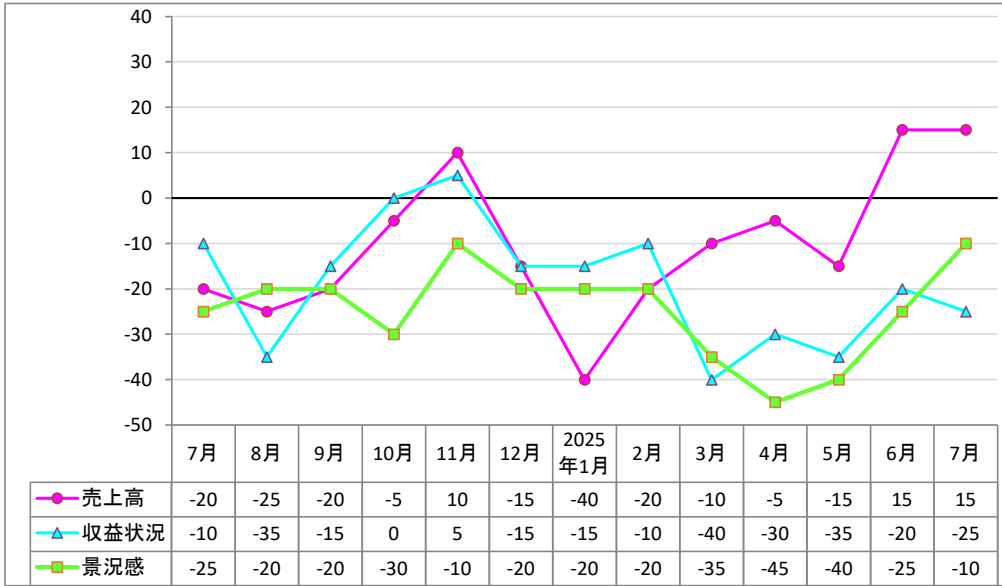
D.I値の推移①(過去10年間) 2015年1月～2025年7月



D.I値の推移②(過去1年間) 2024年7月～2025年7月



【製造業】



【非製造業】

